

くしろ 釧路みなとオアシスの構成施設

代表施設 釧路フィッシャーマンズワーフMOO&EGG



釧路の観光拠点として、年間約70万人の旅行者を受け入れ、水産加工品やお土産などの販売、食堂や軽食喫茶なども営業している。多言語対応の観光案内所を備え、クルーズ船おもてなし時は外国人観光客に対して、着物の着付け体験、書道・茶道体験などの日本文化を通じた交流イベントを開催。



着物の着付け体験



書道体験



観光案内所

構成施設 釧路市観光国際交流センター



国の内外を問わずさまざまな交流の拠点として利用されることを目的に建設された都心部の屋内型多目的施設。広々としたホールにフラットな床面、同時通訳ブース、音響AV機器など、充実した設備となっており、「物産店や各種展示会」、「各種まつりやイベント」、「各種学会や国際会議」の会場として利用されている。

構成施設 釧路港耐震・旅客船ターミナル



クルーズ船の寄港時の接岸場所となっており、お出迎え・お見送りのイベント等が実施され、賑わいの場となっている。耐震・旅客船ターミナルとして大規模地震時には、臨海部防災拠点となり、船舶により地域の緊急物資や被災地の復旧のための資機材の受入を行う。



学生によるマーケティング演奏



釧路市観光大使
おもてなしソング



くしろ蝦夷太鼓演奏

さいわいちょう 構成施設 幸町緑地



「くしろ霧フェスティバル」、「釧路大漁どんぱく」、「くしろ冬まつり」など、釧路の季節に因んだ各種イベントが開催され、周辺住民や観光客等多くの来場者で賑わう。災害時には防災拠点として、平常時には野外ステージとして機能する。

くしろ霧フェスティバル (7月)

霧の発生率が日本一という霧の街釧路。多いときで年間発生日数が100日にもなるこの霧を逆に楽しむために構成施設の幸街緑地の野外ステージで開催されるイベント。霧に包まれた夜空を色鮮やかに彩るレーザーとサウンドが織りなす幻想的な空間を楽しむことができる。



釧路大漁どんぱく (9月)

大地の恵み、大海の幸・大空の華をテーマに2004年から開催される食と花火が癒合したお祭り。新鮮な海産物を使った屋台をはじめ、花火大会では道内でも最大級を誇る三尺玉が秋の風物詩となっており、多くの市民や観光客で賑わっている。



くしろ冬まつり (2月)

1965年から始まった長い歴史のイベントであり、メイン会場となる構成施設の釧路市観光国際交流センター前庭には冰雪像や冰雪すべり台が設置され、チューブスライダーも楽しめる。夜にはライトアップや花火の打ち上げが行われ、光と雪の幻想的なコラボレーションを見ることができる冬の釧路の一大イベント。

